



2014年7月5日発行

立野ダムによらない自然と生活を守る会 代表 中島康 熊本市西区島崎4丁目5-13

## 立野ダム仮排水路トンネル 11月着工を阻止しよう！



熊本市長に抗議文提出 2014.6.4

白川流域4市町村（熊本市、菊陽町、大津町、南阿蘇村）でつくる「白川改修・立野ダム建設促進期成会」が、毎年恒例の総会を5月20日に開き、立野ダムの本体工事の早期着工と事業の推進を強く要望する方針を決めました。

また、同期成会で国土交通省は、今年11月に立野ダム仮排水路トンネルの掘削工事に着手することを明らかにしました。

そのことに対し、私たちは6月4日に熊本市役所と国土交通省立野ダム工事事務所を訪れ、抗議文を提出しました。

立野ダムは洪水調節だけを目的とした「穴あき

ダム」だと言われています。ところが、洪水時にはダム下部に開いた穴（高さ5m×幅5m）が流木などでふさがることはいくら考えても明らかであり、立野ダムは洪水調節不能となります。

また、阿蘇は日本を代表する活火山です。立野峡谷は阿蘇カルデラの唯一の切れ目であり、多くの断層も集中しています。ダム完成後、火山活動等により地盤が動けば、ダム本体と周りの地盤の間にすき間が生じるなど、非常に危険な状況も考えられます。

ところが、国土交通省は住民が要望している立野ダムの説明会を一切開こうとしません。立野ダム建設が住民のためになるのなら、国土交通省は堂々と説明すればよいのに、なぜ説明しようとならないのでしょうか。国は立野ダムの問題点が明らかになることを恐れ、説明会さえ開けないと言わざるを得ません。

国土交通省に対しては、抗議文の中で下記2点について強く要請しました。

1. 白川流域の市町村ごと、熊本市にあつては白川沿いの中学校区ごとに立野ダム事業に関する説明会を開催すること。その際、住民の質問については真摯に回答し、住民の意見を十分に聞くこと。
2. 上記説明会が開催され、国土交通省が立野ダム事業についての説明責任を果たすまでは、立野ダムの転流工事（仮排水路トンネル工事）に着工しないこと。

## ●立野ダムをめぐる動き 2014年3月～2014年6月

- 2014年3月16日 白川漁協臨時総会で、立野ダム補償案受入れを了承  
3月22日 ストップ立野ダム署名活動（熊本市下通りダイエー前）  
4月16日 「阿蘇の世界遺産、白川郷に学ぶ」熊本市パレオホール 150名参加  
5月20日 白川改修・立野ダム建設促進期成会が、立野ダム本体工事の早期着工を強く要望。国交省11月に仮排水路トンネルの掘削工事着工を明言  
5月31日 ストップ立野ダム署名活動（熊本市下通りダイエー前）  
6月4日 熊本市、国土交通省に抗議文提出  
6月8日 大津町民による立野ダム住民懇談会 大津町陣内公民館 30名参加  
6月28日 ストップ立野ダム署名活動（熊本市下通りダイエー前）

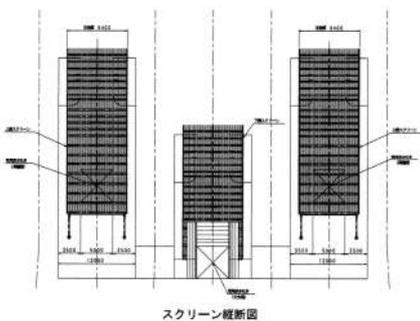


立野ダム住民懇談会(大津町) 2014.6.8



署名活動(熊本市下通り) 2014.6.28

## ●立野ダムの穴はつまらない？



現在撤去工事中の球磨川の荒瀬ダムは、洪水時に流木などを引っかかりにくくするために、建設工事中に水門（ゲート）の間隔を当初の10mから15mに広げています。「穴あきダム」である立野ダムにはゲートがない代わりに、ダムの下部に3つの穴（高さ5m×幅5m）があいています。ゲート幅10mで流木が引っかかるので、幅5mの立野ダムの穴が流木でふさがるのは明らかです。

国土交通省は流木対策として、立野ダムの穴の上流部にスクリーンを設置するとしています。スクリーンのすき間はわずか20cmです。国土交通省は、「スクリーンに捕捉された流木についてはダムの水位の上昇に伴い、浮き上がるので、ダムの穴はふさがらない」と説明しています。

## ●立野ダムには土砂がたまらない？

洪水時の白川の水は多くの火山灰（ヨナ）とともに、多量の岩石や流木等を含みます。阿蘇カルデラ内の岩石や流木、土砂、火山灰などが全て立野ダム予定地に集中します。それらが、立野ダムの下部に設置される3つの穴（高さ5m×幅5m）通り下流へ流れていくことは、どう考えても不可能です。しかもダムの穴の上流側は、スクリーンで覆われているのです。

ところが国土交通省は、「洪水時には一時的にダムに土砂が堆積しますが、その後のダムの水位の低下とともに堆積した土砂は下流へと流れるため、ダムが土砂で埋まり、洪水調節機能を発揮しなくなるようなことはありません」と説明しています。

## ●「阿蘇の世界遺産、白川郷に学ぶ」に150人参加



「阿蘇を世界文化遺産に白川郷から学ぶ」  
お話を聞く会(熊本市)2014.4.16

4月16日、阿蘇の世界文化遺産登録を実現するために、合掌造りで知られる岐阜県・白川郷の観光案内人の上手重一さんの「お話を聞く会」が熊本市で開催され、150名が耳を傾けました。

白川郷は、県境を挟んだ富山県の五箇山の合掌造り集落とともに「白川郷・五箇山の合掌造り集落」として世界文化遺産に登録されました。

合掌造り集落にも戦後、電源開発の波が押し寄せ、下流域に6つのダムと8つの発電所が建設されました。1960年代半ばには小集落の集団離村が相次ぎ、ダムの底に沈む合掌集落を目の当たりにした若い人たちから、保存の意識や運動が高まってきました。

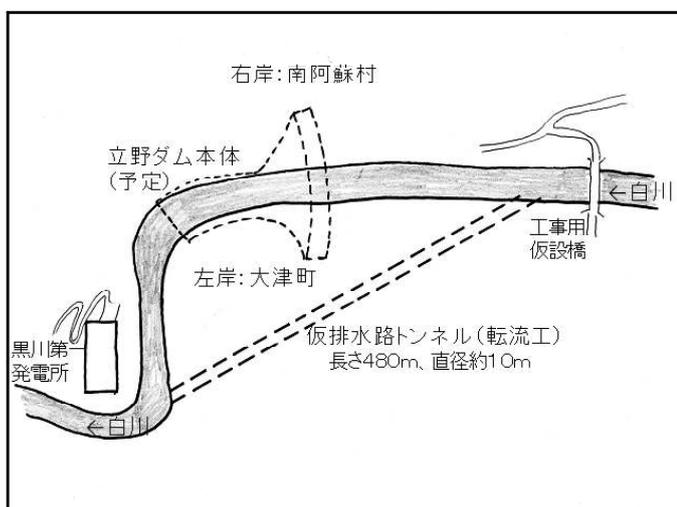
過疎が進んだ1971年、「荻町の自然環境を守る会」が発足します。この守る会あってこそその世界遺産です。守る会の申し合わせ事項で、合掌家屋を売らない、貸さない、壊さないの、三原則を決めました。他にも、看板の一边は1m20cm以内、外灯は玄関に1つ、壁やシャッターは木の板で造る、洗濯物の干し場も大抵母屋の他に別棟があるので見えないようにするなどを、守る会が監視します。規制を巡って始めはトラブルも多かったとのことですが、守る会なしには保全はできず、究極の住民自治の感を抱きました。

白川郷が世界文化遺産に認定されるまでの様々な取り組みや、地域一丸となって世界遺産を守り、維持して来られたことがよく分かりました。

2004年に世界遺産に登録されたドレスデン・エルベ渓谷は、ヴァルトシュレスヒェン橋を新たに建設したために2009年に世界遺産から抹消されました。世界文化遺産を目指す阿蘇にとって、立野ダムは絶対につくってはならないものであることが確信できました。

## ●仮排水路トンネル工事とは

仮排水路トンネルとは、立野ダム本体をつくるために、ダム本体左岸側に長さ480mのトンネル（直径約10m）を掘り、白川の流れを迂回させるためのトンネルです。国土交通省の資料には「転流工」と書いてあります。同省の資料によれば、工期は約3年半となっています。



立野ダム本体予定地を上流から見た写真  
左岸側に仮排水路トンネルが掘られる 2014.4.19

# 阿蘇の大自然と白川の清流を 未来に手渡すために皆様へのお願い

## ●7月12日の集会、8月17日の現地調査会にご参加ください！



2012年7月豪雨災害から2周年の7月12日に、熊本市パレアで「ダムより河川改修を」出版記念集会を開きます。多くの方に参加を呼びかけていただければありがたいです。8月17日には現地調査会を開きます。まだ現地を見られていない方はぜひ見てください。ご家族連れでの参加も大歓迎です！

## ●「ミニ集会」開催にご協力ください！

多くの方々に立野ダム問題について知っていただくために、ミニ集会をあちこちで開いています。ご連絡いただければスタッフが会場を訪れ、スライド上映などを行います。少人数から開催OKです。とても分かりやすいと好評です。



## ●会員拡大にご協力ください！

「立野ダムによらない自然と生活を守る会」では、活動を広げていくために、今後も会員を拡大していきたいと思えます。年会費は一口1000円です。会員になっていただけそうな人がおられたら、会報をお送りしますのでハガキやFAX、メール等でお知らせください！

## ●まわりの方々に立野ダム計画のおかしさを伝えてください！

ご家族ご友人、職場やご近所の方々に、立野ダムは「百害あって一利もない」ことをお知らせください。立野ダムの熊本県の負担額は約271億円。県民1人あたり約15000円を立野ダムに負担することになります。私たちみんなの問題なのです。

## ●各新聞に投書しましょう！

投稿のあて先は、各新聞の投書欄をご覧ください。熊日新聞「読者の広場」の場合は…450字程度。住所、氏名、年齢、職業、電話番号明記、電子メールの宛先 [hiroba@kumanichi.co.jp](mailto:hiroba@kumanichi.co.jp)

**編集後記** 2012年5月に「立野ダムによらない自然と生活を守る会」を結成して2年が過ぎました。会の結成直後の2012年7月、白川流域は豪雨災害に襲われ、私たちはその洪水被害の検証結果を『世界の阿蘇に立野ダムはいらない』と題する一冊の本にまとめ出版しました。しかし国土交通省は、熊本が世界に誇る阿蘇に高さ90mもの立野ダムを建設する姿勢を変えようとはしません。そこで、現在明らかになった立野ダムの問題点を改めて検証し、新たな書籍『ダムより河川改修を』を出版しました。立野ダムによる洪水調節には「穴あきダムの穴が流木等でふさがれば洪水調節できなくなる」という致命的な欠陥があります。ダム予定地周辺の地質のことを考えても危険性が大きく、人類の財産である世界の阿蘇を守るためにも、立野ダムより河川改修を進めるべきです。多くの方々に読んでいただき、立野ダムは「百害あって一利もない」ことを知っていただきたいと思えます。(N.O.)